

岩見沢市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表 (傍線赤文字部分は変更箇所)

変 更 後	変 更 前																																																
<p>目次 略</p> <p>○基本計画の名称 略 ○作成主体 略 ○計画期間：平成27年4月から令和2年3月まで（5年）</p> <p>1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針 略</p> <p>2. 中心市街地の位置及び区域 [1] 略 [2] 略 [3] 中心市街地の要件に適合していることの説明 第1号要件 略 第2号要件 (1)～(2) 略 (3) 歩行者・自転車通行量 中心市街地における歩行者・自転車通行量（中心市街地の回遊軸である口の字回廊の4つの通りを調査地点とした合計値）は、平成20年に5,912人/日でしたが平成25年には4,561人/日にまで減少しており、商業をはじめとする地区の経済活力に影響を与えています。 歩行者のみの通行量についても、平成21年以外は歩行者・自転車通行量とほぼ同様の傾向を示しています。なお、平成21年に歩行者通行量が増加しているのは、その年、積雪が多かったことから、自転車利用者が歩行に転じたためとみられます。</p> <div data-bbox="338 1171 1252 1633" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>歩行者・自転車通行量(平日)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>歩行者・自転車通行量</th> <th>歩行者通行量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平20年</td><td>5,912</td><td>4,098</td></tr> <tr><td>21年</td><td>5,197</td><td>4,653</td></tr> <tr><td>22年</td><td>5,323</td><td>3,895</td></tr> <tr><td>23年</td><td>5,887</td><td>4,369</td></tr> <tr><td>24年</td><td>5,585</td><td>3,958</td></tr> <tr><td>25年</td><td>4,561</td><td>3,500</td></tr> <tr><td>26年</td><td>4,661</td><td>3,100</td></tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right;">資料：岩見沢市調査</p> <p> (4)～(5) 略 第3号要件 略</p> <p>3. 中心市街地の活性化の目標 [1] 略 [2] 計画期間の考え方</p>	年	歩行者・自転車通行量	歩行者通行量	平20年	5,912	4,098	21年	5,197	4,653	22年	5,323	3,895	23年	5,887	4,369	24年	5,585	3,958	25年	4,561	3,500	26年	4,661	3,100	<p>目次 略</p> <p>○基本計画の名称 略 ○作成主体 略 ○計画期間：平成27年4月から平成32年3月まで（5年）</p> <p>1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針 略</p> <p>2. 中心市街地の位置及び区域 [1] 略 [2] 略 [3] 中心市街地の要件に適合していることの説明 第1号要件 略 第2号要件 (1)～(2) 略 (3) 歩行者・自転車通行量 中心市街地における歩行者・自転車通行量（中心市街地の回遊軸である口の字回廊の4つの通りを調査地点とした合計値）は、平成20年に6,186人/日でしたが平成25年には5,017人/日にまで減少しており、商業をはじめとする地区の経済活力に影響を与えています。 歩行者のみの通行量についても、平成21年以外は歩行者・自転車通行量とほぼ同様の傾向を示しています。なお、平成21年に歩行者通行量が増加しているのは、その年、積雪が多かったことから、自転車利用者が歩行に転じたためとみられます。</p> <div data-bbox="1703 1171 2617 1633" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>歩行者・自転車通行量(平日)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>歩行者・自転車通行量</th> <th>歩行者通行量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平20年</td><td>5,912</td><td>4,098</td></tr> <tr><td>21年</td><td>5,197</td><td>4,653</td></tr> <tr><td>22年</td><td>5,323</td><td>3,895</td></tr> <tr><td>23年</td><td>5,887</td><td>4,369</td></tr> <tr><td>24年</td><td>5,585</td><td>3,958</td></tr> <tr><td>25年</td><td>4,561</td><td>3,500</td></tr> <tr><td>26年</td><td>4,661</td><td>3,100</td></tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right;">資料：岩見沢市調査</p> <p> (4)～(5) 略 第3号要件 略</p> <p>3. 中心市街地の活性化の目標 [1] 略 [2] 計画期間の考え方</p>	年	歩行者・自転車通行量	歩行者通行量	平20年	5,912	4,098	21年	5,197	4,653	22年	5,323	3,895	23年	5,887	4,369	24年	5,585	3,958	25年	4,561	3,500	26年	4,661	3,100
年	歩行者・自転車通行量	歩行者通行量																																															
平20年	5,912	4,098																																															
21年	5,197	4,653																																															
22年	5,323	3,895																																															
23年	5,887	4,369																																															
24年	5,585	3,958																																															
25年	4,561	3,500																																															
26年	4,661	3,100																																															
年	歩行者・自転車通行量	歩行者通行量																																															
平20年	5,912	4,098																																															
21年	5,197	4,653																																															
22年	5,323	3,895																																															
23年	5,887	4,369																																															
24年	5,585	3,958																																															
25年	4,561	3,500																																															
26年	4,661	3,100																																															

本計画の計画期間は、予定する事業の進捗とその事業効果等を考慮し、平成 27 年 4 月から令和 2 年 3 月までの 5 年間とし、その最終年度である平成 31 年度を目標年度とします。ただし、活性化の取り組みは、本計画期間内で終了するのではなく、持続性を持って長期的視野のもとに進めていきます。

[3] 略

[4] 目標数値の設定

4つの目標指標の目標値を次のように設定します。

基本方針	目標	目標指標	最新値	基準値	目標値
1. 住みたいと思う暮らし環境づくり	暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進	中心市街地居住者人口	3,508 人 (H25 年)	3,508 人 (H25 年)	3,800 人 (H31 年)
2. ふれあいと交流のある賑わいづくり	岩見沢らしい賑わいづくりで生まれる回遊の促進	中心市街地歩行者・自転車通行量 (平日・休日の平均)	4,281 人 (H26 年)	4,281 人 (H26 年)	4,800 人 (H31 年)
		商業業務集積地区空き店舗数	61 件 (H26 年)	61 件 (H26 年)	50 件 (H31 年)
	多世代がふれあうまちなか交流の促進	公共・公益施設利用者数	449,946 人 (H25 年)	449,946 人 (H25 年)	500,000 人 (H31 年)

【目標 1】暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進

(1) 目標指標 1：中心市街地居住者人口

- 1) 数値目標の設定 略
- 2) 目標年度の推計値（トレンド） 略
- 3) 事業による効果
 - ① 3・5 地区マンション事業による効果 略
 - ② 市営住宅整備事業による効果 略
 - ③ 有料老人ホーム建設事業による効果 略
 - ④ まちなか活性化事業補助金による効果 略
 - ⑤ 空き店舗・空き家等利活用促進事業による効果

本文略

【目標 2】岩見沢らしい賑わいづくりで生まれるまちなか回遊の促進

(1) 目標指標 2：中心市街地歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）

- 1) 歩行者・自転車通行量の推移
歩行者・自転車通行量は平成 20 年度から測定しており、平日と休日の推移は次のようになっています。

本計画の計画期間は、予定する事業の進捗とその事業効果等を考慮し、平成 27 年 4 月から平成 32 年 3 月までの 5 年間とし、その最終年度である平成 31 年度を目標年度とします。ただし、活性化の取り組みは、本計画期間内で終了するのではなく、持続性を持って長期的視野のもとに進めていきます。

[3] 略

[4] 目標数値の設定

4つの目標指標の目標値を次のように設定します。

基本方針	目標	目標指標	最新値	基準値	目標値
1. 住みたいと思う暮らし環境づくり	暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進	中心市街地居住者人口	3,508 人 (H25 年)	3,508 人 (H25 年)	3,800 人 (H31 年)
2. ふれあいと交流のある賑わいづくり	岩見沢らしい賑わいづくりで生まれる回遊の促進	中心市街地歩行者・自転車通行量 (平日・休日の平均)	4,281 人 (H26 年)	4,281 人 (H26 年)	4,800 人 (H31 年)
		商業業務集積地区空き店舗数	61 件 (H26 年)	61 件 (H26 年)	50 件 (H31 年)
	多世代がふれあうまちなか交流の促進	公共・公益施設利用者数	449,946 人 (H25 年)	449,946 人 (H25 年)	500,000 人 (H31 年)

【目標 1】暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進

(1) 目標指標 1：中心市街地居住者人口

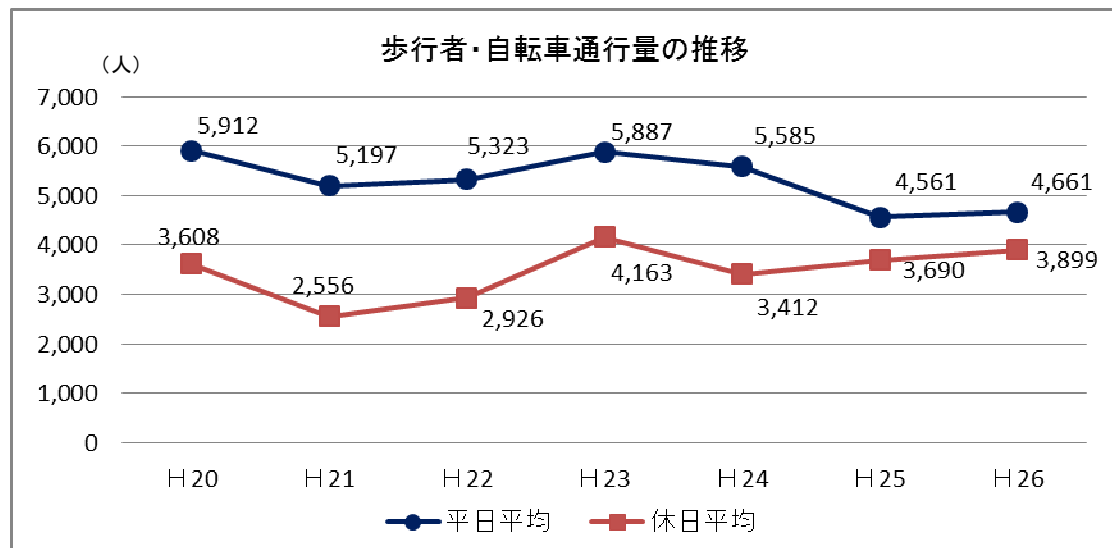
- 1) 数値目標の設定 略
- 2) 目標年度の推計値（トレンド） 略
- 3) 事業による効果
 - ① 3・5 地区マンション事業による効果 略
 - ② 市営住宅整備事業による効果 略
 - ③ 有料老人ホーム建設事業による効果 略
 - ④ まちなか活性化事業補助金による効果 略
 - ⑤ 中心市街地空き店舗・空き家・空き地対策窓口事業による効果

本文略

【目標 2】岩見沢らしい賑わいづくりで生まれるまちなか回遊の促進

(1) 目標指標 2：中心市街地歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）

- 1) 歩行者・自転車通行量の推移
歩行者・自転車通行量は平成 20 年度から測定しており、平日と休日の推移は次のようになっています。



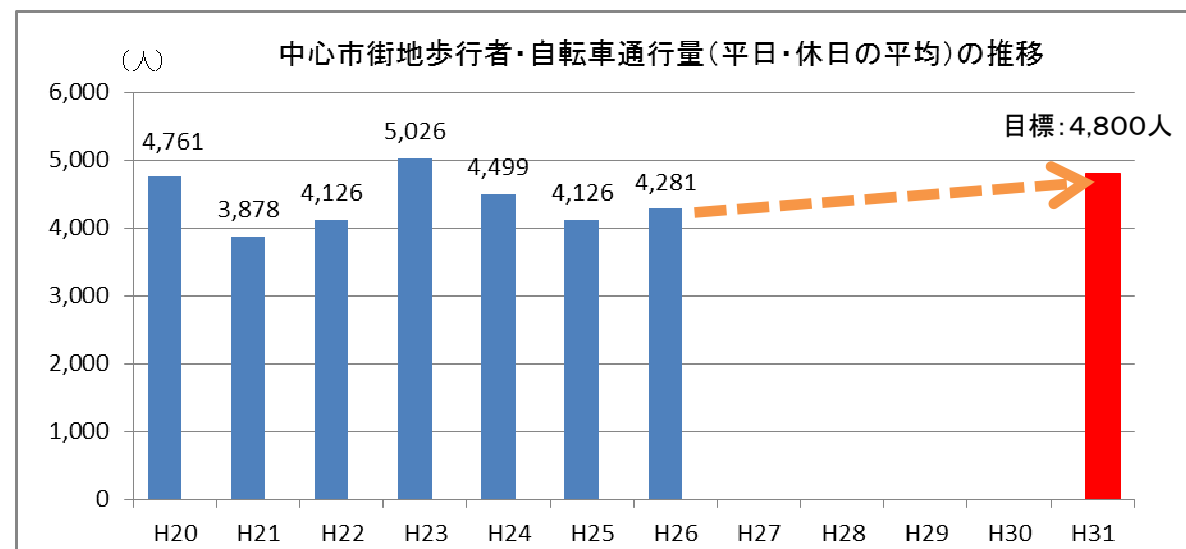
※H26年の休日通行量は、開催されていたイベントの影響を排除した調整値

2) 数値目標の設定

目標指標	現況値 (基準年H26)	推計値 (H31)	目標値 (目標年H31)	活性化事業による増加数
中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	4,281人	4,250人	4,800人	550人

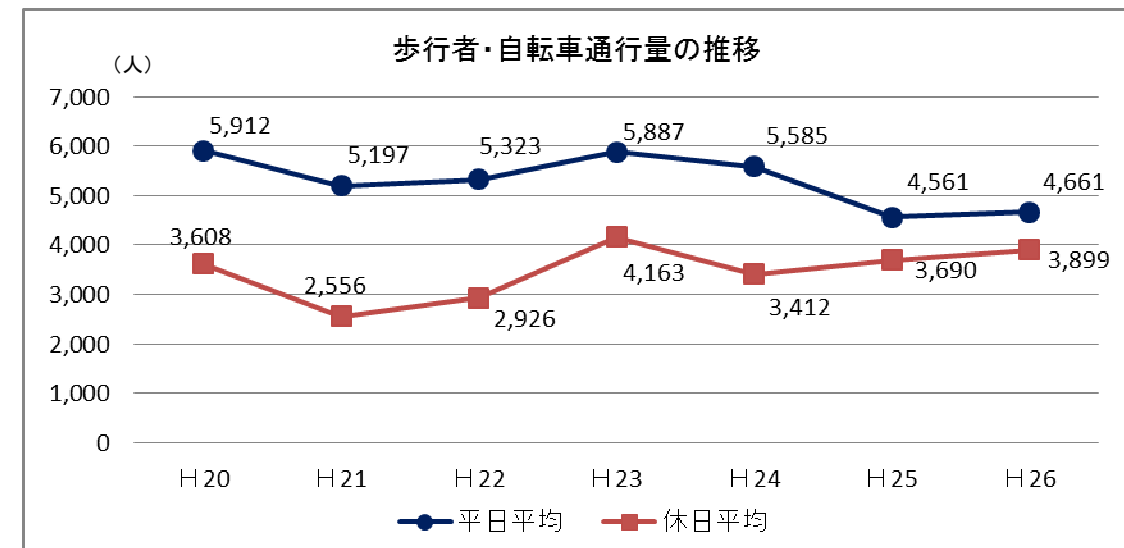
基準年である平成26年度の中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)は4,281人ですが、平成26年度を含めた過去7時点のトレンドにより将来推計を行うと、平成31年度で4,250人と推計されます。

新計画に位置づける各事業を実施することにより、中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)の550人の増加を見込み、平成31年で4,800人の歩行者・自転車通行量を目標値とします。



3) 目標年度の推計値(トレンド)

歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)は次のように推計され、平成31年度の推計値は4,250人となります。



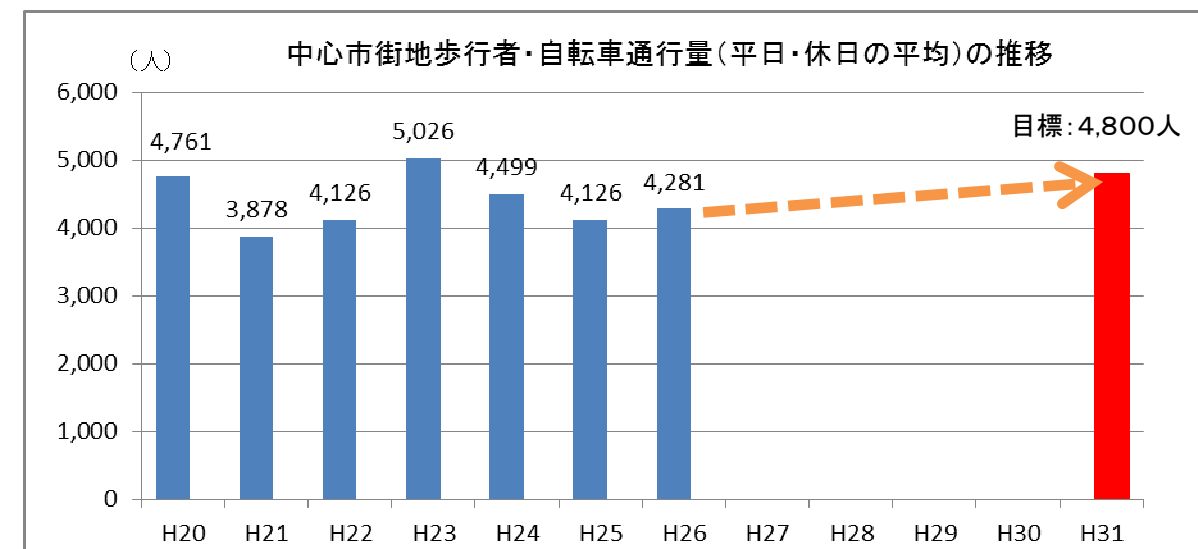
※H26年の休日通行量は、開催されていたイベントの影響を排除した調整値

2) 数値目標の設定

目標指標	現況値 (基準年H26)	推計値 (H31)	目標値 (目標年H31)	活性化事業による増加数
中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	4,281人	4,250人	4,800人	550人

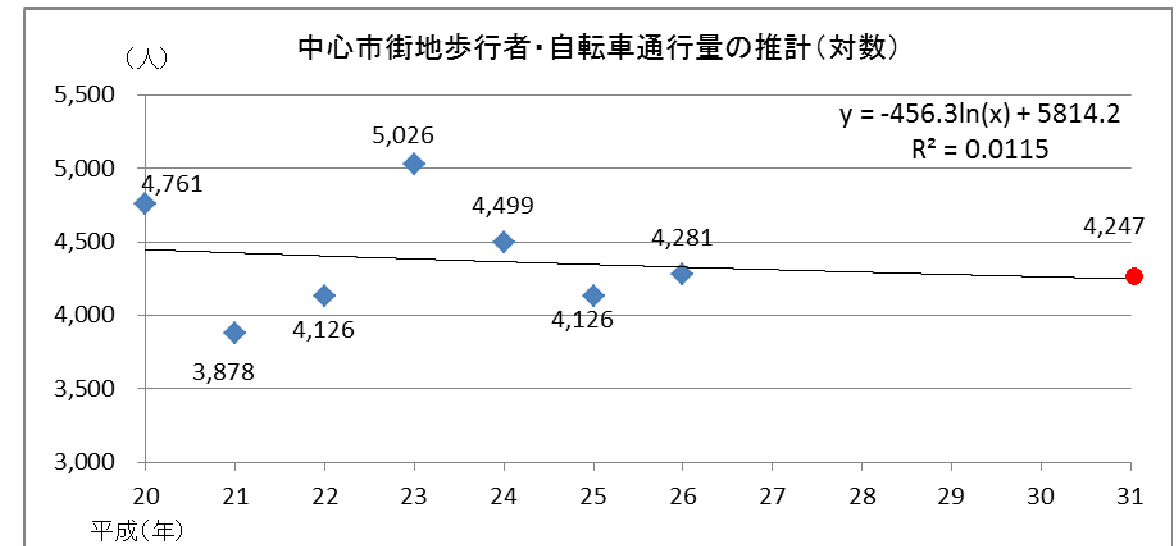
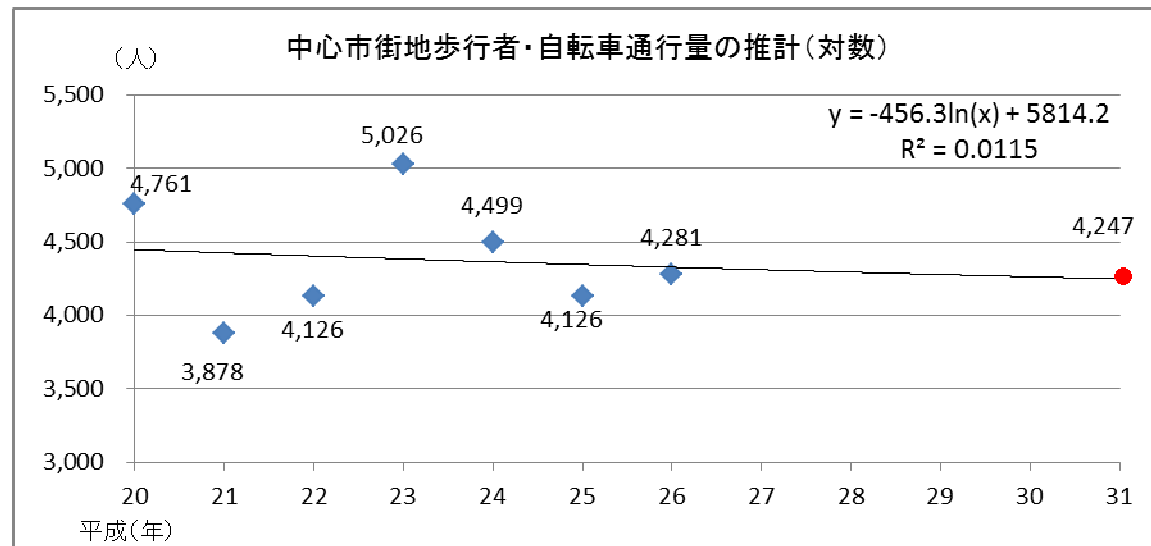
基準年である平成26年度の中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)は4,281人ですが、平成26年度を含めた過去7時点のトレンドにより将来推計を行うと、平成31年度で4,260人と推計されます。

新計画に位置づける各事業を実施することにより、中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)の540人の増加を見込み、平成31年で4,800人の歩行者・自転車通行量を目標値とします。



3) 目標年度の推計値(トレンド)

歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)は次のように推計され、平成31年度の推計値は4,260人となります。



- 4) 事業による効果 略
 (2) 目標指標 3 : 商業業務集積地区空き店舗数 略

- 4) 事業による効果 略
 (2) 目標指標 3 : 商業業務集積地区空き店舗数 略

【目標 3】多世代がふれあうまちなか交流の促進

- (1) 目標指標 4 : 公共・公益施設利用者数 略
 1) 利用者数の推移 略
 2) 目標年度の推計値 (トレンド) 略
 3) 数値目標の設定 略
 4) 事業による効果

【目標 3】多世代がふれあうまちなか交流の促進

- (1) 目標指標 4 : 公共・公益施設利用者数 略
 1) 利用者数の推移 略
 2) 目標年度の推計値 (トレンド) 略
 3) 数値目標の設定 略
 4) 事業による効果

①子育て支援機能拡充事業による効果

であえーる岩見沢における子育て支援機能拡充により、利用者数の増分を次のように見込みます。
 ・乳幼児健診センターの利用者は健診を受ける乳幼児と付添いの親・兄弟を含んだ数字であるが、出生数が増えていないことから、平成 25 年度と同数を見込む。
 ・こどものあそび場の実績は、あそび場の“KIDS はらっぱ SORA”の利用者数をカウントしていないため子育て支援センター利用者のみであるが、改修により子育て支援センターとあそび場を一体利用できるものにする予定であり、平成 31 年度で一日当たり 150 人の利用を見込む (開設日数は 307 日/年)。

①子育て支援機能拡充事業による効果

であえーる岩見沢における子育て支援機能拡充により、利用者数の増分を次のように見込みます。
 ・乳幼児健診センターの利用者は健診を受ける乳幼児と付添いの親・兄弟を含んだ数字であるが、出生数が増えていないことから、平成 25 年度と同数を見込む。
 ・こどものあそび場の実績は、あそび場の“KIDS はらっぱ SORA”の利用者数をカウントしていないため子育て支援センター利用者のみであるが、改修により子育て支援センターとあそび場を一体利用できるものにする予定であり、平成 31 年度で一日当たり 150 人の利用を見込む (開設日数は 307 日/年)。

○乳幼児健診利用者数の推移 単位:人

区分	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
乳幼児健診受診者数	2,339	2,242	2,329	2,276	2,283	2,832
乳幼児健診利用者数	4,725	4,529	4,705	4,598	4,612	5,721

※乳幼児健診利用者数=乳幼児数×2(親・祖父母)+乳幼児数×2%(兄弟)

○乳幼児健診利用者数の推移 単位:人

区分	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
乳幼児健診受診者数	2,339	2,242	2,329	2,276	2,283	2,832
乳幼児健診利用者数	4,725	4,529	4,705	4,598	4,612	5,721

※乳幼児健診利用者数=乳幼児数×2(親・祖父母)+乳幼児数×2%(兄弟)

○であえーる岩見沢における子育て機能拡充による利用者数の増分 単位:人

施設名	H25利用者数実績	H31利用者目標	利用者増分	備考
乳幼児健診センター	5,720	5,720	5,720	中心市街地外からの移転
こどものあそび場	16,119	46,050	29,931	子育て親子ひろば「ひなたっ子」+あそび場
計	21,839	51,770	35,651	

※H25のこどものあそび場の実績は子育て親子ひろば「ひなたっ子」のみ

○であえーる岩見沢における子育て機能拡充による利用者数の増分 単位:人

施設名	H25利用者数実績	H31利用者目標	利用者増分	備考
乳幼児健診センター	5,720	5,720	5,720	中心市街地外からの移転
こどものあそび場	16,119	46,050	29,931	子育て支援センター+あそび場
計	21,839	51,770	35,651	

※H25のこどものあそび場の実績は子育て支援センターのみ

- ②健康づくり拠点整備事業による効果 略
 5) 数値目標の達成見込み 略

- ②健康づくり拠点整備事業による効果 略
 5) 数値目標の達成見込み 略

[5]フォローアップの時期及び方法

それぞれの目標指標については、以下の方法で数値を把握します。数値目標の達成状況については、毎年

[5]フォローアップの時期及び方法

それぞれの目標指標については、以下の方法で数値を把握します。数値目標の達成状況については、毎年

度末にフォローアップし、岩見沢市中心市街地活性化協議会に報告します。

【目標1】暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進

(目標指標①) 中心市街地居住者人口

中心市街地の居住者人口は、住民基本台帳をもとに、毎年12月末の実態を把握します。

数値目標の達成状況については毎年度確認し、状況に応じて事業促進のための措置を講じていきます。

また、計画期間終了後には、事業実施による中心市街地活性化の効果を検証します。

なお、3・5地区マンション事業は令和2年3月に完成する予定であり、計画最終年のフォローアップ時期である令和元年12月末の住民基本台帳には反映されないことから、事業完了後の令和2年4月末の住民基本台帳による居住者人口を追加調査し、事業の効果を確認するものとします。

【目標2】～【目標3】 略

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1)～(2)① 略

(2)②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>【事業名】 3.4.10駅前通整備事業</p> <p>【内容】 駅前通り（1条西6丁目街区を除く）の拡幅整備（18m→22m）を行います。歩道を3.5mから5.5mに拡幅し、バリアフリーに配慮した自転車歩行者道の整備や歩道の緑化を行います。また、駅前通り（1条西6丁目街区を除く）と1条通西5丁目（道道区間）について電線類の地中化を予定しています。 L=350m、W=22m 電線類地中化 L=549m（駅前通り両側+1条通片側）</p> <p>【実施時期】 平成21年度～令和2年度</p>	北海道	<p>【位置付け】 歩道の拡幅と電線類の地中化により、安全・安心に歩くことができる自転車歩行者道を整備することで、まちなか回遊を促進します。</p> <p>【必要性】 駅前通りは都市軸、緑の骨格軸として位置付けられており、歩道の拡幅に伴う歩行者・自転車帯の分離と電線類地中化により、都市のシンボルゾーンを形成するとともに地震などに対する都市防災機能が向上し、安全・安心で快適な回遊空間を形成する上で必要な事業です。</p>	<p>【支援措置】 社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））</p> <p>【実施時期】 平成21年度～令和2年度</p>	
<p>【事業名】 3.4.7 一条通整備事業（略）</p>	(略)	(略)	(略)	

度末にフォローアップし、岩見沢市中心市街地活性化協議会に報告します。

【目標1】暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進

(目標指標①) 中心市街地居住者人口

中心市街地の居住者人口は、住民基本台帳をもとに、毎年12月末の実態を把握します。

数値目標の達成状況については毎年度確認し、状況に応じて事業促進のための措置を講じていきます。

また、計画期間終了後には、事業実施による中心市街地活性化の効果を検証します。

なお、3・5地区マンション事業は平成32年3月に完成する予定であり、計画最終年のフォローアップ時期である平成31年12月末の住民基本台帳には反映されないことから、事業完了後の平成32年4月末の住民基本台帳による居住者人口を追加調査し、事業の効果を確認するものとします。

【目標2】～【目標3】 略

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1)～(2)① 略

(2)②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>【事業名】 3.4.10駅前通整備事業</p> <p>【内容】 駅前通り（1条西6丁目街区を除く）の拡幅整備（18m→22m）を行います。歩道を3.5mから5.5mに拡幅し、バリアフリーに配慮した自転車歩行者道の整備や歩道の緑化を行います。また、駅前通り（1条西6丁目街区を除く）と1条通西5丁目（道道区間）について電線類の地中化を予定しています。 L=350m、W=22m 電線類地中化 L=549m（駅前通り両側+1条通片側）</p> <p>【実施時期】 平成21年度～32年度</p>	北海道	<p>【位置付け】 歩道の拡幅と電線類の地中化により、安全・安心に歩くことができる自転車歩行者道を整備することで、まちなか回遊を促進します。</p> <p>【必要性】 駅前通りは都市軸、緑の骨格軸として位置付けられており、歩道の拡幅に伴う歩行者・自転車帯の分離と電線類地中化により、都市のシンボルゾーンを形成するとともに地震などに対する都市防災機能が向上し、安全・安心で快適な回遊空間を形成する上で必要な事業です。</p>	<p>【支援措置】 社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））</p> <p>【実施時期】 平成21年度～32年度</p>	
<p>【事業名】 3.4.7 一条通整備事業（略）</p>	(略)	(略)	(略)	

【事業名】 駅前通整備促進事業 【内容】 駅前通の案内標識や防犯灯の設置、電線類地中化引き込みを行います。 【実施時期】 平成26年度～ <u>令和2年度</u>	岩見沢市	【位置付け】 案内標識や歩道照明を設置し、夜間においても安全・安心に歩くことができる歩行者空間を整備し、まちなか回遊を促進します。 【必要性】 案内標識や歩道照明の設置は、快適な歩行者空間を整備する上で必要です。	【支援措置】 社会資本整備総合交付金(道路事業(街路)と一体の効果促進事業) 【実施時期】 平成27年度～28年度
---	------	---	--

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

※該当なし

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 駅前通沿道街区整備促進事業 【内容】 駅前通りの拡幅整備に伴う沿道建物の建て替え時に建築の規制誘導を行って、岩見沢市の都市軸にふさわしい景観形成を図ります。 【実施時期】 平成21年度～ <u>令和2年度</u>	岩見沢市、岩見沢駅前通りまちづくり運営委員会	【位置付け】 市で定めた地区計画及び運営委員会で定めた「駅前通り地区まちづくり要領」に沿った形で沿道建物を建て替え、街並み景観の形成により、まちなか回遊を促進します。 【必要性】 整備が完了した複合駅舎施設、駅前広場に連続して駅前通りの景観形成を図り、岩見沢市の顔づくりを行う上で必要な事業です。		
【事業名】 中心商店街除排雪事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 ばらのまちづくり推進事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 利根別川千本桜並木道の守り育て (略)	(略)	(略)		

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関する事業

※該当なし

【事業名】 駅前通整備促進事業 【内容】 駅前通の案内標識や防犯灯の設置、電線類地中化引き込みを行います。 【実施時期】 平成26年度～ <u>32年度</u>	岩見沢市	【位置付け】 案内標識や歩道照明を設置し、夜間においても安全・安心に歩くことができる歩行者空間を整備し、まちなか回遊を促進します。 【必要性】 案内標識や歩道照明の設置は、快適な歩行者空間を整備する上で必要です。	【支援措置】 社会資本整備総合交付金(道路事業(街路)と一体の効果促進事業) 【実施時期】 平成27年度～28年度
--	------	---	--

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

※該当なし

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 駅前通沿道街区整備促進事業 【内容】 駅前通りの拡幅整備に伴う沿道建物の建て替え時に建築の規制誘導を行って、岩見沢市の都市軸にふさわしい景観形成を図ります。 【実施時期】 平成21年度～ <u>32年度</u>	岩見沢市、岩見沢駅前通りまちづくり運営委員会	【位置付け】 市で定めた地区計画及び運営委員会で定めた「駅前通り地区まちづくり要領」に沿った形で沿道建物を建て替え、街並み景観の形成により、まちなか回遊を促進します。 【必要性】 整備が完了した複合駅舎施設、駅前広場に連続して駅前通りの景観形成を図り、岩見沢市の顔づくりを行う上で必要な事業です。		
【事業名】 中心商店街除排雪事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 ばらのまちづくり推進事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 利根別川千本桜並木道の守り育て (略)	(略)	(略)		

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関する事業

※該当なし

(2) ①～(2) ② 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 あそびの広場活用事業 【内容】 子育て支援機能拡充事業により整備され、平成 28 年 3 月 20 日にオープンした「あそびの広場」を適切に運営し、活用を図ります。 【実施時期】 平成 28 年度～令和 2 年度	岩見沢市、(株)振興いわみざわ	【位置付け】 あそびの広場は、子育て支援機能拡充事業により整備された「こども・子育てひろば『えみふる』」の中心施設として位置付けられており、それを活用することで、であえーる岩見沢の集客力向上を図ります。 【必要性】 あそびの広場は、幼児から小学生までの子どもたちと保護者が利用する幅広い世代の交流の場となります。さらに商店街が市外からの利用者のニーズにも応えることで、業種構成に好影響を与えることができます。	【支援措置】 社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業と一体の効果促進事業) 【実施時期】 平成 28 年度～31 年度	

(4) 国の支援がないその他の事業 略

6. 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) ～ (2) ① 略

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 市営住宅整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 3・5地区マンション事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 道営住宅整備事業 【内容】 6条東1丁目・5条東1丁目に、1棟30戸の道営住宅を建設します。 【実施時期】	北海道	【位置付け】 岩見沢市が推進するまちなか居住や子育てに適した住環境の形成に向けた取り組みと連携し、中心市街地に子育て支援住宅を整備します。 【必要性】	【支援措置】 社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等整備事業))	

(2) ①～(2) ② 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 あそびの広場活用事業 【内容】 子育て支援機能拡充事業により整備され、平成 28 年 3 月 20 日にオープンした「あそびの広場」を適切に運営し、活用を図ります。 【実施時期】 平成 28 年度～32 年度	岩見沢市、(株)振興いわみざわ	【位置付け】 あそびの広場は、子育て支援機能拡充事業により整備された「こども・子育てひろば『えみふる』」の中心施設として位置付けられており、それを活用することで、であえーる岩見沢の集客力向上を図ります。 【必要性】 あそびの広場は、幼児から小学生までの子どもたちと保護者が利用する幅広い世代の交流の場となります。さらに商店街が市外からの利用者のニーズにも応えることで、業種構成に好影響を与えることができます。	【支援措置】 社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業と一体の効果促進事業) 【実施時期】 平成 28 年度～31 年度	

(4) 国の支援がないその他の事業 略

6. 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) ～ (2) ① 略

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 市営住宅整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 3・5地区マンション事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 道営住宅整備事業 【内容】 6条東1丁目・5条東1丁目に、1棟30戸の道営住宅を建設します。 【実施時期】	北海道	【位置付け】 岩見沢市が推進するまちなか居住や子育てに適した住環境の形成に向けた取り組みと連携し、中心市街地に子育て支援住宅を整備します。 【必要性】	【支援措置】 社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等整備事業))	

平成29年度～ <u>令和3年度</u>		住宅に困窮する子育て世帯に対し、市が「こども・子育てひろば『えみふる』」や中央児童館において提供する子育て支援サービスを活用できるような道営住宅を供給することは、まちなか居住や子育てに適した住環境の形成に向けて必要です。	【実施時期】 平成29年度～ <u>令和3年度</u>	
----------------------	--	--	--------------------------------	--

(3)～(4) 略

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、中心市街地特例通訳案内士育成等事業その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

※該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 まちなか活性化事業補助金（再掲） (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 商店街後継者対策事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 まちなか商業環境改善事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 商店街再興戦略支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 商業業務集積地区活性化事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 まちなか活性化アドバイザー派遣事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 空き店舗等改修支援事業	岩見沢市	【位置付け】 空き店舗や空き家を活用し	【支援措置】 中心市街地活	

平成29年度～ <u>33年度</u>		住宅に困窮する子育て世帯に対し、市が「こども・子育てひろば『えみふる』」や中央児童館において提供する子育て支援サービスを活用できるような道営住宅を供給することは、まちなか居住や子育てに適した住環境の形成に向けて必要です。	【実施時期】 平成29年度～ <u>33年度</u>	
---------------------	--	--	-------------------------------	--

(3)～(4) 略

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、中心市街地特例通訳案内士育成等事業その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

※該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 まちなか活性化事業補助金（再掲） (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 商店街後継者対策事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 まちなか商業環境改善事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 商店街再興戦略支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 商業業務集積地区活性化事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 まちなか活性化アドバイザー派遣事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 空き店舗等改修支援事業	岩見沢市	【位置付け】 空き店舗や空き家を活用し	【支援措置】 中心市街地活	

【内容】 空き店舗や空き家を店舗等に変更したり、2階以上の空き店舗を賃貸住宅に変更する場合に、改修費用を補助します。 【実施時期】 平成27年度～		て店舗・飲食店等とする改修費用を補助し、空き店舗の解消と商店街の活性化を図ります。 【必要性】 空き店舗や空き家を解消することは、街並みの連続性を確保して、賑わいを創出する上で必要な事業です。	性化ソフト事業 【実施時期】 平成30年度	
--	--	--	-----------------------------	--

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

※該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 ナカノタナ市場にぎわいづくり事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 まちなか商店街地域連携事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 空き店舗・空き家等利活用促進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 空き店舗等改修支援事業(再掲) (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 既存店舗改修支援事業	(略)	(略)	(略)	

【内容】 空き店舗や空き家を店舗等に変更したり、2階以上の空き店舗を賃貸住宅に変更する場合に、改修費用を補助します。 【実施時期】 平成27年度～		て店舗・飲食店等とする改修費用を補助し、空き店舗の解消と商店街の活性化を図ります。 【必要性】 空き店舗や空き家の解消することは、街並みの連続性を確保して、賑わいを創出する上で必要な事業です。	性化ソフト事業 【実施時期】 平成30年度～ 31年度	
--	--	--	--------------------------------------	--

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 商店街再興戦略事業 【内容】 将来を見据えた魅力ある商店街づくりに向けた戦略的な取り組みについて、専門家を招聘して検討を行うとともに、市場調査や可能性調査を実施します。 【実施時期】 平成27年度～	岩見沢市商店街振興組合連合会外	【位置付け】 商店街が中心となって活性化に向けた取り組みを進めることで、商店街の魅力向上と中心市街地の活性化を図ります。 【必要性】 商店街の再興に向けた戦略的な取り組みは、中心市街地の活性化に必要です。	【支援措置】 地域・まちなか商業活性化支援事業(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業 【実施時期】 平成29年度～	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 ナカノタナ市場にぎわいづくり事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 まちなか商店街地域連携事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 空き店舗・空き家等利活用促進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 空き店舗等改修支援事業(再掲) (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 既存店舗改修支援事業	(略)	(略)	(略)	

(略)				
【事業名】 創業支援事業 【内容】 相談窓口の設置、創業塾の開催、融資相談等により、創業希望者に対する支援を行います。 【実施時期】 平成28年度～ <u>令和2年度</u>	岩見沢市、岩見沢商工会議所、いわみざわ商工会	【位置付け】 中心市街地には空き店舗が存在するなど創業しやすい環境が整っており、創業を希望する人を支援することで、まちなかの賑わい創出を図ります。 【必要性】 創業希望者がまちなかで創業することを支援し、魅力ある店舗が増えることは、空き店舗の解消や回遊性の向上にとって必要です。	【支援措置】 地方創生推進交付金 【実施時期】 平成28年度～ <u>令和2年度</u>	

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 まちなか活性化事業補助金(再掲) (略)	(略)	(略)		
【事業名】 いわみざわ駅まる。 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 炭鉱遺産や鉄道などの地域資源情報提供事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 岩見沢特産品開発及び販売事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 まちなか朝市 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 いわみざわパン甲子園 (略)	(略)	(略)		
削除				

(略)				
【事業名】 創業支援事業 【内容】 相談窓口の設置、創業塾の開催、融資相談等により、創業希望者に対する支援を行います。 【実施時期】 平成28年度～ <u>32年度</u>	岩見沢市、岩見沢商工会議所、いわみざわ商工会	【位置付け】 中心市街地には空き店舗が存在するなど創業しやすい環境が整っており、創業を希望する人を支援することで、まちなかの賑わい創出を図ります。 【必要性】 創業希望者がまちなかで創業することを支援し、魅力ある店舗が増えることは、空き店舗の解消や回遊性の向上にとって必要です。	【支援措置】 地方創生推進交付金 【実施時期】 平成28年度～ <u>30年度</u>	

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
【事業名】 まちなか活性化事業補助金(再掲) (略)	(略)	(略)		
【事業名】 いわみざわ駅まる。 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 炭鉱遺産や鉄道などの地域資源情報提供事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 岩見沢特産品開発及び販売事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 まちなか朝市 (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 いわみざわパン甲子園 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 <u>岩見沢子育てサポーターズ「まざらぼ」</u> 【内容】 <u>小さな子どもを持つ母親</u>	子育てサポーターズ「まざらぼ」	【位置付け】 <u>小さな子どもを持つ母親が中心市街地に来街し、母親同士や他の世代との交流を促進する場や機会を提供します。</u>	【支援措置】 <u>まちなか活性化事業補助金</u> 【実施時期】 <u>平成24年度～</u>	

							を対象に、中心市街地の店舗と連携したポイントカードの発行やベビーカーの貸し出し、託児付き子育てセミナーや子連れイベントなどを企画・開催します。また、子育て情報の発信・提供を行います。		<u>【必要性】</u> 小さな子どもを持つ母親の来街機会を増加させるとともに、商店街の回遊を促進する上で必要な事業です。			
<u>【事業名】</u> いわみちゃん まちなかワクワク活動 <u>【内容】</u> 中心市街地において、ファッションショーやフリーマーケット、コンサート、中高年者の集い（講座）などを開催します。 <u>【実施時期】</u> 平成25年度～	<u>岩見沢ハイ！元気プロジェクト</u>	<u>【位置付け】</u> イベントを実施することで中心市街地への集客を図るとともに、ファッションショーにおいて中心市街地にある洋品店の服を紹介することなどにより、商店街への回遊を促します。 <u>【必要性】</u> 様々なイベントを実施し、店舗の情報を提供することは、女性や高齢者など多様な人々の来街機会が増加し、回遊性も向上する効果的な事業です。	<u>【支援措置】</u> まちなか活性化事業補助金 <u>【実施時期】</u> 平成26年度～				<u>【実施時期】</u> 平成24年度～ 新規追加					
<u>【事業名】</u> 石蔵を活用した芸術・文化・交流事業 (略)	(略)	(略)					<u>【事業名】</u> 石蔵を活用した芸術・文化・交流事業 (略)	(略)	(略)			
<u>【事業名】</u> いわみざわ彩花まつり (略)	(略)	(略)					<u>【事業名】</u> いわみざわ彩花まつり (略)	(略)	(略)			
<u>【事業名】</u> いわみざわ百餅祭り (略)	(略)	(略)					<u>【事業名】</u> いわみざわ百餅祭り (略)	(略)	(略)			
<u>【事業名】</u> いわみざわ情熱フェスティバル (略)	(略)	(略)					<u>【事業名】</u> いわみざわ情熱フェスティバル (略)	(略)	(略)			
<u>【事業名】</u> プロジェクトXmas (略)	(略)	(略)	(略)				<u>【事業名】</u> プロジェクトXmas (略)	(略)	(略)	(略)		
<u>【事業名】</u> であえーる岩見沢交流空間活用事業	(略)	(略)					<u>【事業名】</u> であえーる岩見沢交流空間活用事業 (略)	(略)	(略)			

(略)					(略)				
【事業名】 文化・交流施設と商店街 の連携事業 (略)	(略)	(略)			【事業名】 文化・交流施設と商店街 の連携事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 文化・交流のみち検討事 業 (略)	(略)	(略)			【事業名】 文化・交流のみち検討事 業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 4条通り活性化事業 (略)	(略)	(略)	(略)		【事業名】 4条通り活性化事業(略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 駐車対策事業 (略)	(略)	(略)			【事業名】 駐車対策事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 であえーる岩見沢駐車場 改修事業 (略)	(略)	(略)			【事業名】 であえーる岩見沢駐車場 改修事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 観光物産拠点センター事 業 (略)	(略)	(略)			【事業名】 観光物産拠点センター事 業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 生活情報発信事業 (略)	(略)	(略)			【事業名】 生活情報発信事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 まちづくりリーダー育成 事業 (略)	(略)	(略)			【事業名】 まちづくりリーダー育成 事業 (略)	(略)	(略)		
【事業名】 IWAMI ZAWAセン ターミュージアム (略)	(略)	(略)	(略)		【事業名】 IWAMI ZAWAセン ターミュージアム (略)	(略)	(略)	(略)	
【事業名】 <u>であえーるマルシェ</u> 【内容】 <u>であえーる岩見沢の3条 側広場にキッチンカーや 話題の店舗を配置し、購 入したものをその場で食 べることができるようテ</u>	<u>(株) 振興 いわみざわ</u>	【位置付け】 <u>中心市街地の集客の核とな っている“であえーる岩見沢” の集客力を高めて、まちなかの 賑わい創出を図ります。</u> 【必要性】 <u>中心市街地への来街者や“で あえーる岩見沢”内の店舗・あ</u>			<u>新規追加</u>				

<p><u>ーブルや椅子を置いた空間を提供します。</u></p> <p><u>【実施時期】</u> <u>令和元年度～</u></p>	<p><u>そびの広場などの利用者に、くつろいだ雰囲気の飲食の場を提供して、集客力の向上を図るとともに、中心市街地での滞在時間の延長、であえーる岩見沢の中心市街地の回遊の起点としての機能強化を図って、中心市街地の賑わい創出に寄与します。</u></p>
--	--

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

- [1] 略
 [2] 具体的事業の内容
 (1) ～ (2) ② 略
 (3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>【事業名】 バスアクセス向上検討事業</p> <p>【内容】 岩見沢市全体の公共交通のあり方を方向付ける「生活交通ビジョン」を策定する中で、バス利用による中心市街地へのアクセスを向上させる検討を行います。</p> <p>【実施時期】 平成 26 年度～</p>	岩見沢市	<p>【位置付け】 バスによる中心市街地のアクセスを向上させることで来街者を増やし、まちなかの賑わい創出を図ります。</p> <p>【必要性】 市民アンケートによるとバスが不便との結果が出ており、特に高校生や高齢者等の交通弱者にとって、公共交通機関による中心市街地へのアクセスを改善することが必要です。</p>	<p>【支援措置】 地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通調査事業(計画策定事業))</p> <p>【実施時期】 平成 27 年度</p> <p>【支援措置】 地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通調査事業(再編計画策定事業))</p> <p>【実施時期】 平成 28 年度</p> <p>【支援措置】 地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通再編推進事業(計画推進事業))</p> <p>【実施時期】 <u>平成 29 年度～</u> <u>30 年度</u></p>	

- (4) 国の支援措置がないその他の事業
 ※該当なし

--	--	--	--	--

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

- [1] 略
 [2] 具体的事業の内容
 (1) ～ (2) ② 略
 (3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

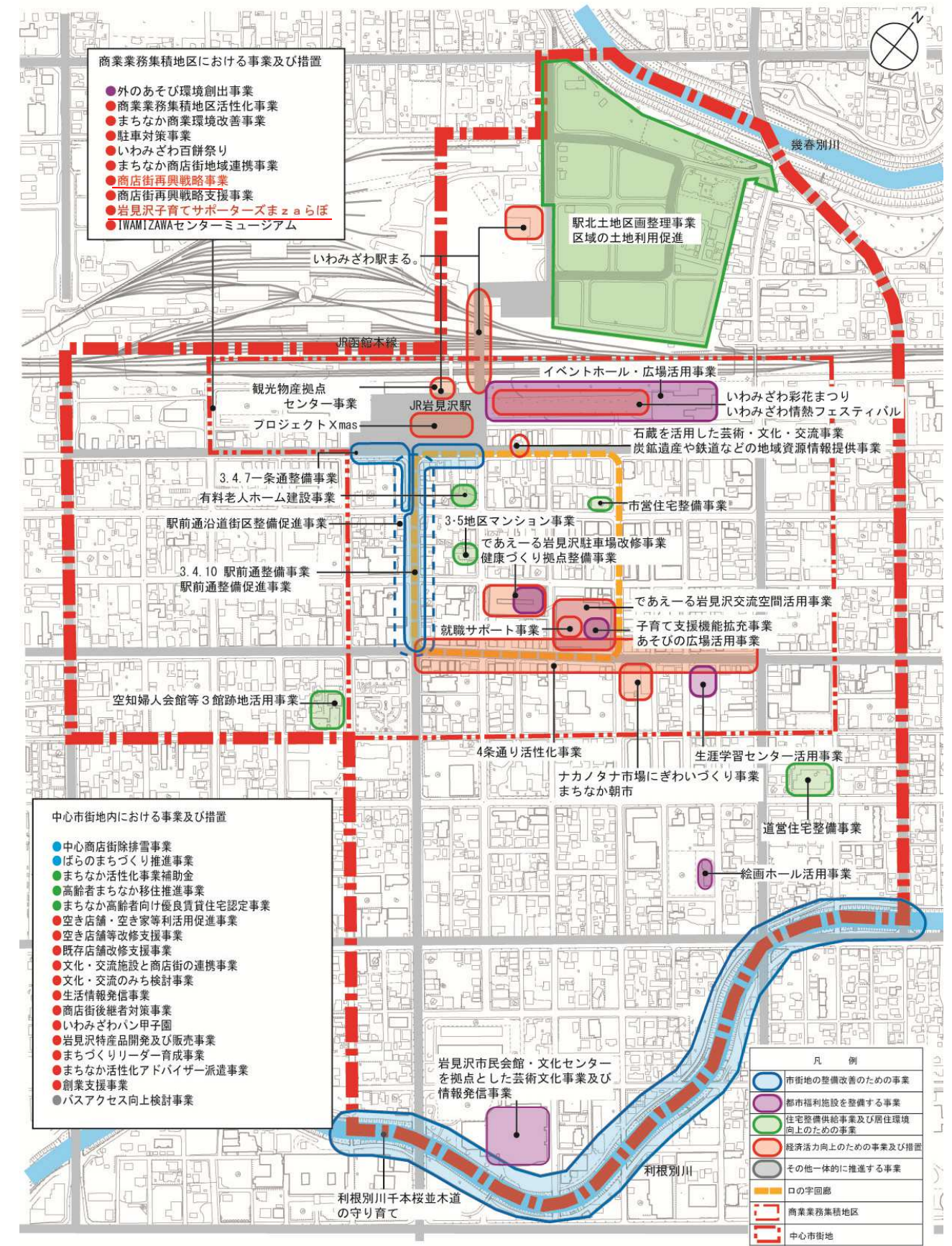
事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>【事業名】 バスアクセス向上検討事業</p> <p>【内容】 岩見沢市全体の公共交通のあり方を方向付ける「生活交通ビジョン」を策定する中で、バス利用による中心市街地へのアクセスを向上させる検討を行います。</p> <p>【実施時期】 平成 26 年度～</p>	岩見沢市	<p>【位置付け】 バスによる中心市街地のアクセスを向上させることで来街者を増やし、まちなかの賑わい創出を図ります。</p> <p>【必要性】 市民アンケートによるとバスが不便との結果が出ており、特に高校生や高齢者等の交通弱者にとって、公共交通機関による中心市街地へのアクセスを改善することが必要です。</p>	<p>【支援措置】 地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通調査事業(計画策定事業))</p> <p>【実施時期】 平成 27 年度</p> <p>【支援措置】 地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通調査事業(再編計画策定事業))</p> <p>【実施時期】 平成 28 年度</p> <p>【支援措置】 地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通再編推進事業(計画推進事業))</p> <p>【実施時期】 <u>平成 29 年度</u></p>	

- (4) 国の支援措置がないその他の事業
 ※該当なし

◇4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所



◇4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所



9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1] 略

[2] 中心市街地活性化協議会に関する事項

(1) 岩見沢市中心市街地活性化協議会の概要及び開催状況

■岩見沢市中心市街地活性化協議会 開催状況

○平成24年度～○平成29年度 略

○平成30年度

回数	開催日	議 題
第1回	平成30年4月27日	・ H29 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価 ・ 中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて ・ H29 協議会収支決算、H30 協議会収支予算
第2回	平成30年6月4日	・ H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の審査 ・ H29 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価
第3回	平成30年8月10日	・ H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の審査(二次募集分) ・ H30 まちなか活性化事業補助金の運営委員会再審査結果について
第4回	平成31年2月21日	・ H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価 ・ まちなか活性化事業補助金の見直しについて ・ 中心市街地活性化基本計画、まちなか活性化計画の変更について

○平成31年度

回数	開催日	議 題
第1回	平成31年4月26日	・ H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価 ・ H30 協議会収支決算、H31 協議会収支予算
第2回	令和元年5月22日	・ 令和元年度まちなか活性化事業補助金個別事業の審査 ・ 中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて
第3回	令和元年7月26日	・ 令和元年度まちなか活性化事業補助金個別事業の審査(二次募集分) ・ H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価 ・ 4西2地区中心市街地活性化事業用地の活用に関する事業募集
第4回	令和元年11月28日	・ 中心市街地活性化基本計画、まちなか活性化計画の変更について

■岩見沢市中心市街地活性化協議会運営委員会 開催状況

○平成24年度～○平成29年度 略

○平成30年度

回数	開催日	議 題
第1回	平成30年4月24日	・ H29 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価 ・ 中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて ・ H29 協議会収支決算、H30 協議会収支予算
第2回	平成30年5月29日	・ H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の審査 ・ まちなか活性化事業補助金の見直しについて

9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1] 略

[2] 中心市街地活性化協議会に関する事項

(1) 岩見沢市中心市街地活性化協議会の概要及び開催状況

■岩見沢市中心市街地活性化協議会 開催状況

○平成24年度～○平成29年度 略

○平成30年度

回数	開催日	議 題
第1回	平成30年4月27日	・ H29 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価 ・ 中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて ・ H29 協議会収支決算、H30 協議会収支予算
第2回	平成30年6月4日	・ H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の審査 ・ H29 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価
第3回	平成30年8月10日	・ H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の審査(二次募集分) ・ H30 まちなか活性化事業補助金の運営委員会再審査結果について
新規追加		

■岩見沢市中心市街地活性化協議会運営委員会 開催状況

○平成24年度～○平成29年度 略

○平成30年度

回数	開催日	議 題
第1回	平成30年4月24日	・ H29 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価 ・ 中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて ・ H29 協議会収支決算、H30 協議会収支予算
第2回	平成30年5月29日	・ H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の審査 ・ まちなか活性化事業補助金の見直しについて

第3回	平成30年7月17日	中心市街地活性化協議会運営委員会と市商連との意見交換会
第4回	平成30年8月7日	・H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の審査（二次募集分） ・H30 まちなか活性化事業補助金の運営委員会再審査結果について ・まちなか活性化事業補助金の見直しについて
第5回	平成30年9月28日	・まちなか活性化事業補助金の見直しについて ・中心市街地活性化基本計画・まちなか活性化計画の変更について ・まちなか活性化計画後期プランの策定について ・4西2地区中心市街地活性化事業用地の活用について
第6回	平成30年11月30日	・まちなか活性化事業補助金の見直しについて
第7回	平成31年2月14日	・H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の審査 ・まちなか活性化事業補助金の見直しについて

※構成員 12名

○平成31年度

回数	開催日	議 題
第1回	平成31年4月18日	・H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価 ・H30 協議会収支決算、H31 協議会収支予算
第2回	令和元年5月17日	・令和元年度まちなか活性化事業補助金個別事業の審査 ・中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて
第3回	令和元年7月19日	・令和元年度まちなか活性化事業補助金個別事業の審査（二次募集分） ・H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の事後評価 ・4西2地区中心市街地活性化事業用地の活用に関する事業募集
第4回	令和元年11月21日	・中心市街地活性化基本計画・まちなか活性化計画の変更について

※構成員 12名

(2)～(4)略

[3]略

10. 中心市街地における都市機能の集積の促進を図るための措置に関する事項

[1]～[2]略

[3] 都市機能の適正立地、既存ストックの有効活用等

(1)略

(2) 主な既存ストックの活用事業

- ・イベントホール・広場活用事業：イベント等の開催
- ・まちなか活性化事業補助金：共同住宅等建設及びソフト事業の実施への支援
- ・高齢者まちなか移住推進事業：郊外から中心市街地への転居支援
- ・空き店舗・空き家等利活用促進事業：相談・支援
- ・空き店舗等改修支援事業：空き店舗対策
- ・いわみざわ駅まる。：複合駅舎等を活用した各種発信活動
- ・であえーる岩見沢交流空間活用事業：ソフト事業の展開

第3回	平成30年7月14日	中心市街地活性化協議会運営委員会と市商連との意見交換会
第4回	平成30年8月7日	・H30 まちなか活性化事業補助金個別事業の審査（二次募集分） ・H30 まちなか活性化事業補助金の運営委員会再審査結果について ・まちなか活性化事業補助金の見直しについて
新規追加		

※構成員 12名

(2)～(4)略

[3]略

10. 中心市街地における都市機能の集積の促進を図るための措置に関する事項

[1]～[2]略

[3] 都市機能の適正立地、既存ストックの有効活用等

(1)略

(2) 主な既存ストックの活用事業

- ・イベントホール・広場活用事業：イベント等の開催
- ・まちなか活性化事業補助金：共同住宅等建設及びソフト事業の実施への支援
- ・高齢者まちなか移住推進事業：郊外から中心市街地への転居支援
- ・中心市街地空き店舗・空き家・空き地対策窓口事業：相談・支援
- ・空き店舗等対策事業補助金：空き店舗対策
- ・いわみざわ駅まる。：複合駅舎等を活用した各種発信活動
- ・であえーる岩見沢交流空間活用事業：ソフト事業の展開

[4] 略

11~12. 略

[4] 略

11~12. 略